

—わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い—
ミュージアム都留からのお知らせ

次回企画展案内 ～芭蕉のさと企画展「甲州俳諧展」～

甲州俳諧の展望 会期 平成18年12月2日(土)～平成19年1月28日(日)

都留市は天和3年(1683年)江戸の大火で庵を焼かれた松尾芭蕉が、国家老の高山傳右衛門繁文(俳号は麋埒(びじ))に招かれ谷村藩に約半年間滞在して「馬ぼくぼく吾を絵に見る夏野かな」などの名句を残し、俳諧との深い土地となっています。

ミュージアム都留では松尾芭蕉の来訪にちなみ、平成13年度より毎年松尾芭蕉と甲州の俳諧との関わりをテーマにした、芭蕉のさと企画展「甲州俳諧展」を開催しています。

本年度は、山梨の俳諧の流れを分かりやすく紹介します。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 一般 300円(210円)

高・大学生 200円(140円)

小・中学生 100円(70円)

※()内は20名以上の団体料金

※チケットは増田誠美術館と共通券となっています。

休館日 11月4日(土)、6日(月)、13日(月)、20日(月)、21日(月)、
24日(金)、27日(月)

問合先 ミュージアム都留 ☎(45)8008

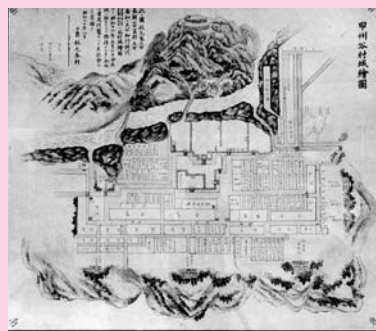
勝山城のなぞに迫る!!

勝山城(お城山)跡学術調査が、昨年から5ヵ年計画で始まりました。

昨年は、調査を円滑にまた効果的に進めるため、県内外の城郭研究の第一人者を募り、勝山城跡学術調査会を設置しました。調査としては、当時の勝山城の様子を地形から読み取るため、勝山城跡の地形測量調査を行いました。

今年度からは、本格的な学術調査に入り、発掘調査や資料調査、また、谷村の町が城下町として、現在までどのような変遷をしてきたかを解明するための町割り調査などをを行います。

勝山城に関連する資料をお持ちの方は、ミュージアム都留まで、お知らせください。



第5回市民俳句かるた大会参加者募集!

市民俳句かるた大会は「都留市俳句連盟」が俳句かるたを通じて、市民が俳句に親しみ、情操を豊かにすることで、潤いのあるまちづくりを目的に開催します。

日時 平成19年1月13日(土) 午後0時30分～

※受け付けは午前11時30分から午後0時15分まで

場所 文化会館

部門

○幼児の部(未就学児童)

○幼児と親子ペアの部

○小学校低学年の部(1～3年生)

○小学校高学年の部(4～6年生)

※各部門ともトーナメント方式で行い、優勝者には賞状・盾、入賞者には賞状を授与します。

参加資格 市内在住者

申込方法 所定の申し込み用紙に記入して、提出してください。

受付期間 11月30日(木)まで

申込・問合先 ミュージアム都留

増田誠美術館

ムッシュ増田の描く人物

会期 12月24日(日)まで

会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)

増田画伯が渡仏当初に描いたパリジャン、セルヴァンテスの小説『ドンキホーテ』、スペインの王家の人物、市に集う人々などムッシュ増田の描いた人物画を展示しています。それぞれ異なる人物の表情などをお楽しみください。

『オマージュベラスケス』

1972年製作HOMMAGE(オマージュ)「献辞・捧げる」

ベラスケス(1599～1660年)は、スペイン・セビリア生まれの宮廷作家として著名です。フィリップ4世時代の王室、貴族の肖像画を多数残しました。そして、増田画伯もこのような独り人物を一方のライフワークの様に描きました。

この作品は、肖像画に生命を与えたと言われるベラスケスに心より敬意をもって17世紀のコスチュームを配って描いた連作です。

